

2019年北京国際園芸博覧会

The International Horticultural Exposition 2019,
Beijing, China



ゾーニング

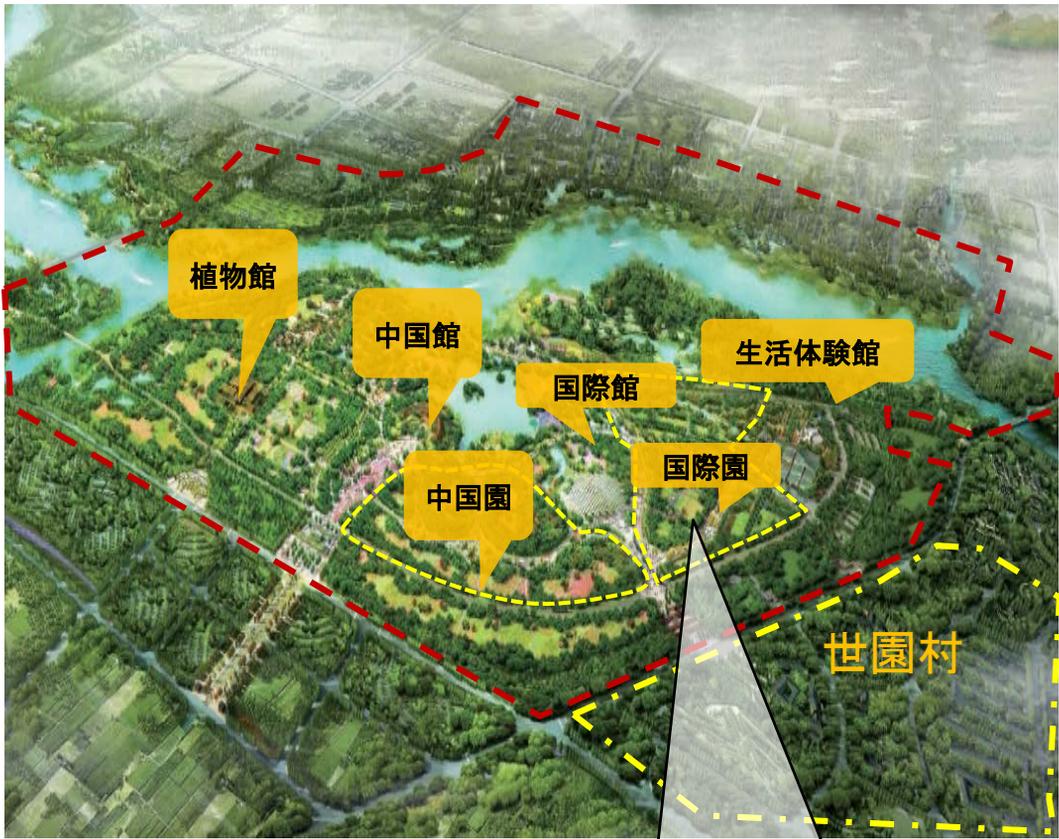
- 1心：中核景觀地区
- 2軸：風景庭軸、世界園芸軸
- 3帯：生態レジャーゾーン、園芸技術開発ゾーン、園芸生活体験ゾーン
- 多片区：中国園芸展示区、世界園芸展示区、園芸生活体験区、
教育と将来の展示区、自然生態学的展示区

- (1)種 類:国際園芸家協会によるA1クラス認定
国際博覧会条約に基づく認定博覧会
- (2)テーマ:緑色生活 美麗家園
(仮訳:緑の生活 美しいふるさと)
(中国側英訳:Live Green Live Better)
- (3)開催地:中華人民共和国北京市延慶区
(北京都心から北西に74km、万里の長城近傍)
- (4)会 期:平成31(2019)年4月29日～10月7日
※2019年は、中国建国70周年
- (5)面 積:約960ヘクタール(大阪花博のおよそ7倍)
- (6)参加国:82カ国、13国際機関(2017年12月25日現在)
- (7)入場者(中国側目標):1,600万人(20%は海外から)

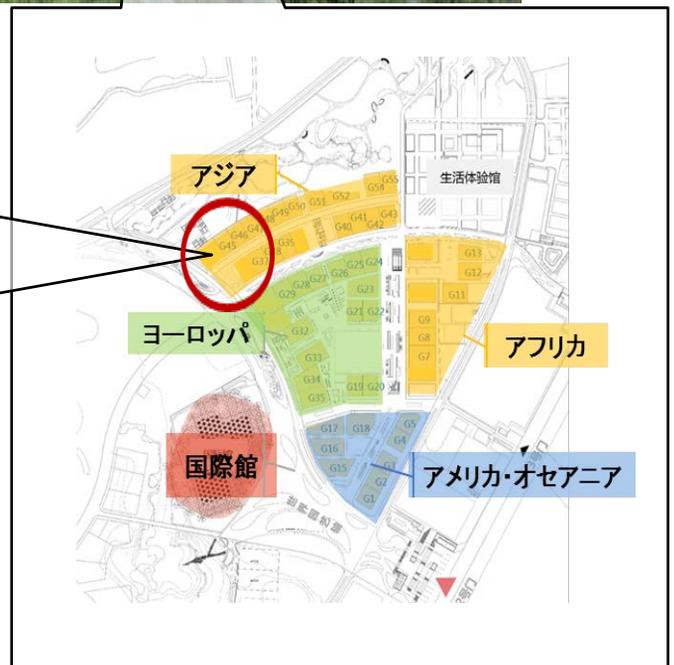


【参考】中国の国際園芸博覧会(BIE承認)実績 昆明国際園芸博覧会(1999年)

会場の配置図と日本の展示区画



日本の展示予定地 (2017年9月)

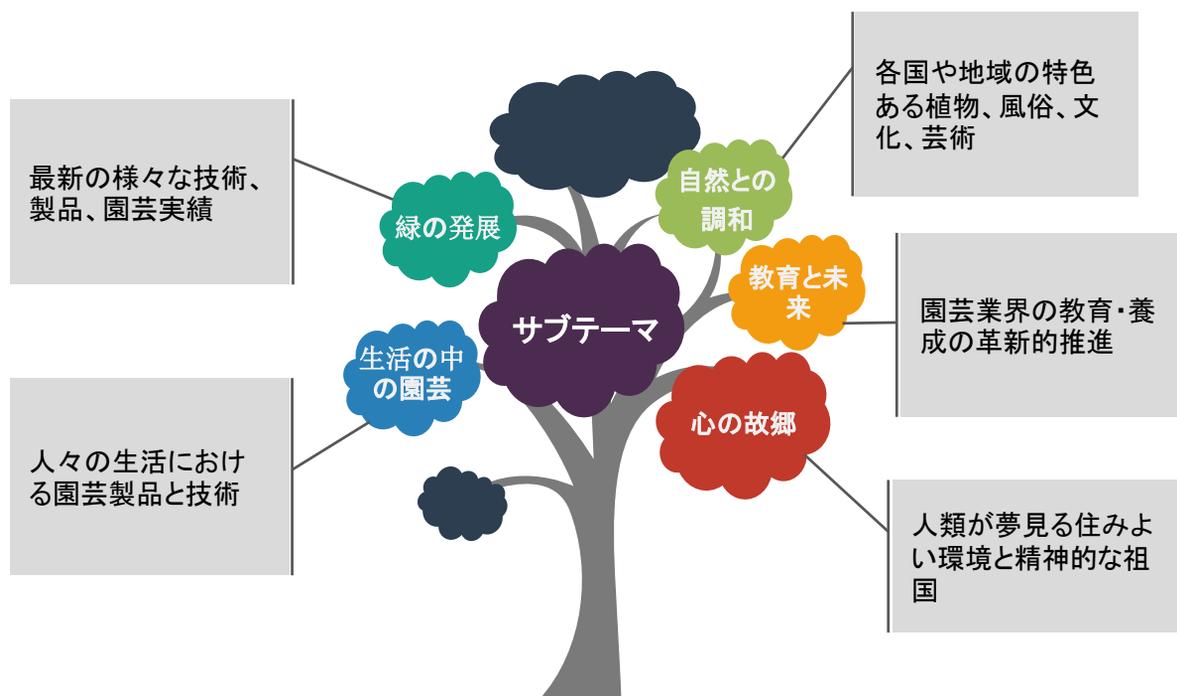


・屋外展示(日本庭園)と屋内展示を 同じ区画(2, 550㎡)で行う予定。

テーマとプラットフォーム

展示

- 屋外展示 : 庭園造り芸術、国家イメージ、特徴的な文化と素晴らしい園芸
- 室内展示 : 最高水準の園芸製品・技術、特色ある植物品種並びに観光旅行
- 専門展示 : 花、果物、薬草、野菜、茶、コーヒーを含む園芸産業、及び園芸機械、機器、播種技術



交流

ナショナルデーや特別な文化的展覧会、国際コンテストや専門フォーラムなど、様々なアクティビティを組織して参加国との経済、文化、技術、学術交流を促進

交易

多くの国際協力の機会を得て、ブランドイメージを示し、先進の園芸製品と技術を売り込むことにより、市場を拡大



これまでの取り組み

2016年

7月 李克強首相から安倍首相あて招請状発出、外務省受理(9月)

2017年

9月 現地調査及び事務局打合せ (国交・農水)

— 政府出展条件確認、出展区画の検討

11月 現地調査及び工事条件等の確認

2018年

2月5日 第一回日本国出展委員会

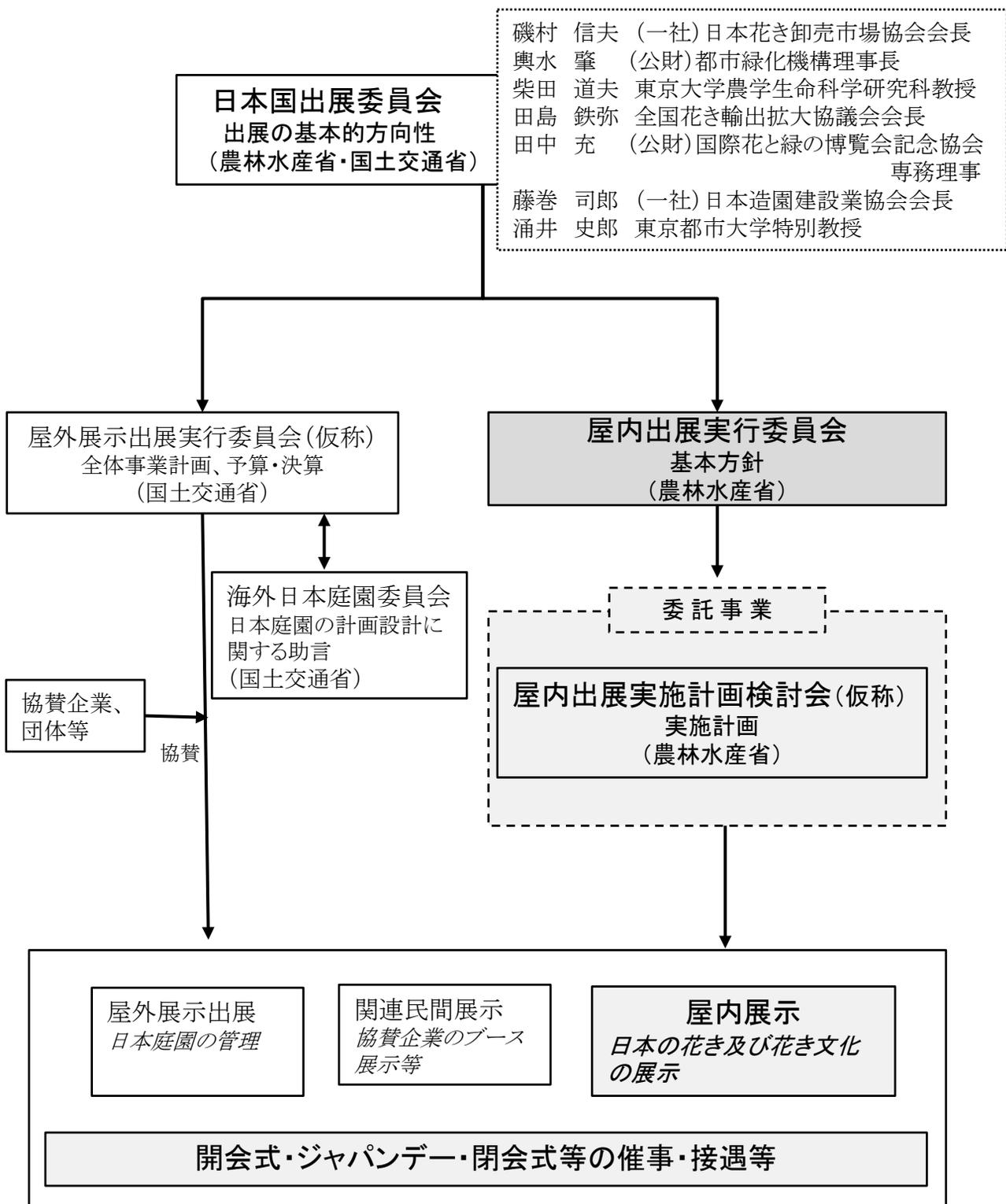
3月1日 第一回屋内出展実行委員会

(公式参加について閣議了解)

2019年

4月 北京国際園芸博覧会開幕

実施体制



北京国際園芸博覧会 主催者テーマの概要

【全体テーマ】

北京国際園芸博覧会のテーマは「緑の生活、美しいふるさと」であり、環境にやさしい文明の考え方に由来する、人類の長い歴史の新たな道しるべである。

古来より、人々の暮らしは自然と園芸と結びついてきた。しかしながら、これまでの数百年の間、人類は環境を守ってこなかった。そして自然資源を過度に開発してきた。このことは緑で生態学的な環境の不均衡をもたらし、人間の健康、生活そして子孫を脅かしている。

そして、社会の発展とともに、人類は、自然を変化させるよりも、徐々に受け入れ、尊重し、そして受け入れるようになった。

北京国際園芸博覧会は「緑の生活、美しい生活」のテーマを発展させ、コミュニケーションを図り、そして推し進めることを通じて、緑のライフスタイルに対する普遍的な願望を示すであろう。

そして、人々に自然を理解させ、自然に適合する道を確認なものとすることによって、生活を大事にして健康的なライフスタイルを受け入れることによって、自然を慈しみ心を開放することによって、緑の家庭と生態学的な文明の全く新しいモデルを創り出すであろう。

【サブテーマ】

1. 緑の展開

緑の持続的な展開は、今日の世界の経済成長を導く重要な考え方であり、今後数十年、そうであり続けるだろう。緑の展開は、環境にやさしい社会と環境保護だけでなく、環境にやさしい生産を促進し、既存の環境にやさしい技術的な要素の変革を促すことによって、発展モデルと生産工程の大きな変革を示している。

（展示例）

最新の品種や園芸における技術、環境にやさしい科学技術の適用、園芸が環境保護にもたらす利益、大気の浄化と生態的修復、どのように花や植物、野菜や果実が人間の体を健康に保っているか、廃棄物のリサイクルと再利用、土壌改良、有機農業、垂直庭園、効率的な耕うん、緑の輸送、緑の建物、クリーンエネルギー、環境にやさしい材料などの様々な分野における緑の進歩に関する期待

2. 生活における園芸

園芸は、人類の物質的、精神的そして文化的な生活に大きな役割を果たしている。人間、園芸そして自然の調和の取れた共存は、園芸の文化と緑の生活が人々の日々の暮らしに溶け込むことで、さらに自然を尊重し、手当をし、自然への回帰をもたらす。

（展示例）

園芸生産物と技術、それらの生活への導入についての説明

家庭ガーデン、観賞植物、壁面緑化、屋上庭園、お祝い・余暇・健康及び美容のための園芸生産物、食品・衣服・オフィスワーク・旅行の視点からのエコロジカルな進歩についての展示

フラワーアレンジメント、お茶や陶芸、中国の漢方薬とその健康への効果、植付け、摘取り、調理そして味わうことを通じて緑の生活を直接経験できる企画

3. 自然との調和

それぞれの国と民族集団には、その文化と土壌を代表する植物がある。これらの花、植物そして樹木は独特の風習や芸術様式をもたらし、社会、政治、経済、外交、芸術そして民族統合に関して特別な意義をもたらしており、私たちの日常の生活から切り離すことはできない。

(展示例)

国や地域にとっての特別な植物、風習と習慣、文化と芸術についての説明

国の花、伝統的な庭園、庭園建築物、優れた庭園、特徴的な園芸スタイルの展示

世界の多様な文化における交流と協力のためのプラットフォームを目的とした特徴的文化的活動

4. 教育と未来

北京国際園芸博覧会は人々が園芸について学び、園芸をさらに愛することを学ぶプラットフォームである。環境への意識を高め、自然の法則と園芸への愛情の尊重などについて社会全体、特に十代の若者に対して教育的な役割を果たす。

(展示例)

園芸産業で革新を生み出すためのトレーニングセッションやイベントの実施、園芸に関する知識の普及、子供のための園芸祭りのような植物の紹介、交流と体験を含む活動

園芸の本質に関する展示、自然が人類にもたらした資源と富について考えさせ、園芸における生産と創造への参加を促す展示

5. 心のふるさと

美しいふるさととは人々の心を文化的な面でも育む環境にやさしい地域である。北京国際園芸博覧会は万里の長城の近郊で開催され、自然と社会の景観の高度な調和を示すものであり、理想的な心のふるさとと人類の生活環境を確立するための最適な条件を示している。

(展示例)

生活環境と人類が夢見る心のふるさとの展示

園芸と、文化的な作品、著名人と偉大な教師、詩と歌、書道、絵画、写真、音楽と踊り、文学と芸術との結びつきの説明

園芸音楽祭の実施、茶、絹、陶器、香辛料、小さなガーデニング道具、盆栽と岩や石の作品の展示

※ 本資料は、博覧会事務局が作成した「博覧会特別規則1 博覧会テーマの定義と主催者及び参加国によるテーマの展開のためのガイドライン」による

〈第 1 回日本国出展委員会資料〉

2019 年北京世界園芸博覧会 日本国出展の基本的方向性

■ 基本的コンセプト

- 日本の花きと花き文化を展示する屋内展示及び日本庭園等の屋外展示が調和のとれた一体となった展示として、「庭邸一如」の考え方のもとに多様で奥行きのある日本の園芸文化とライフスタイルの今を伝える
- 日本人の自然に対する畏敬と感謝の思いによって育まれてきた世界に誇る造園及び花き園芸文化は、安らぎだけではなく、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に対しても自然環境の積極的な利用を通じて一層の貢献の可能性があることから、現在の日本の環境技術やライフスタイルとあわせ来訪者に伝える。
- 2020 年東京オリンピック・パラリンピック、2022 年北京冬季オリンピックが予定されている中で、両国の交流の一層の拡大につながるよう日本の魅力を伝える。

■ 出展テーマ

○Japanese Green Lifestyle

自然に関する畏敬の念と、自然に対する感謝の念をあわせもった日本人の自然観をふまえつつ、伝統的な園芸技術、花文化や日本庭園技法と最先端の環境技術を融合させた、日本の成熟したライフスタイルを表現する。

■ ゾーニング

○出展区画は、次のゾーンで構成する

- ・屋外展示として、我が国の伝統的な造園技術を駆使し水辺空間を備えた様式による庭園
- ・屋内展示として、日本庭園と調和した花き園芸技術を展示する和風建築物及びそれと一体となった坪庭空間
- ・日本文化を伝える行催事の会場となる空間
- ・日本国出展に賛同した企業で、園芸博覧会のテーマと関連した商業活動を行う企業の PR の場となる空間

北京国際園芸博覧会 日本政府出展区画ゾーニング図

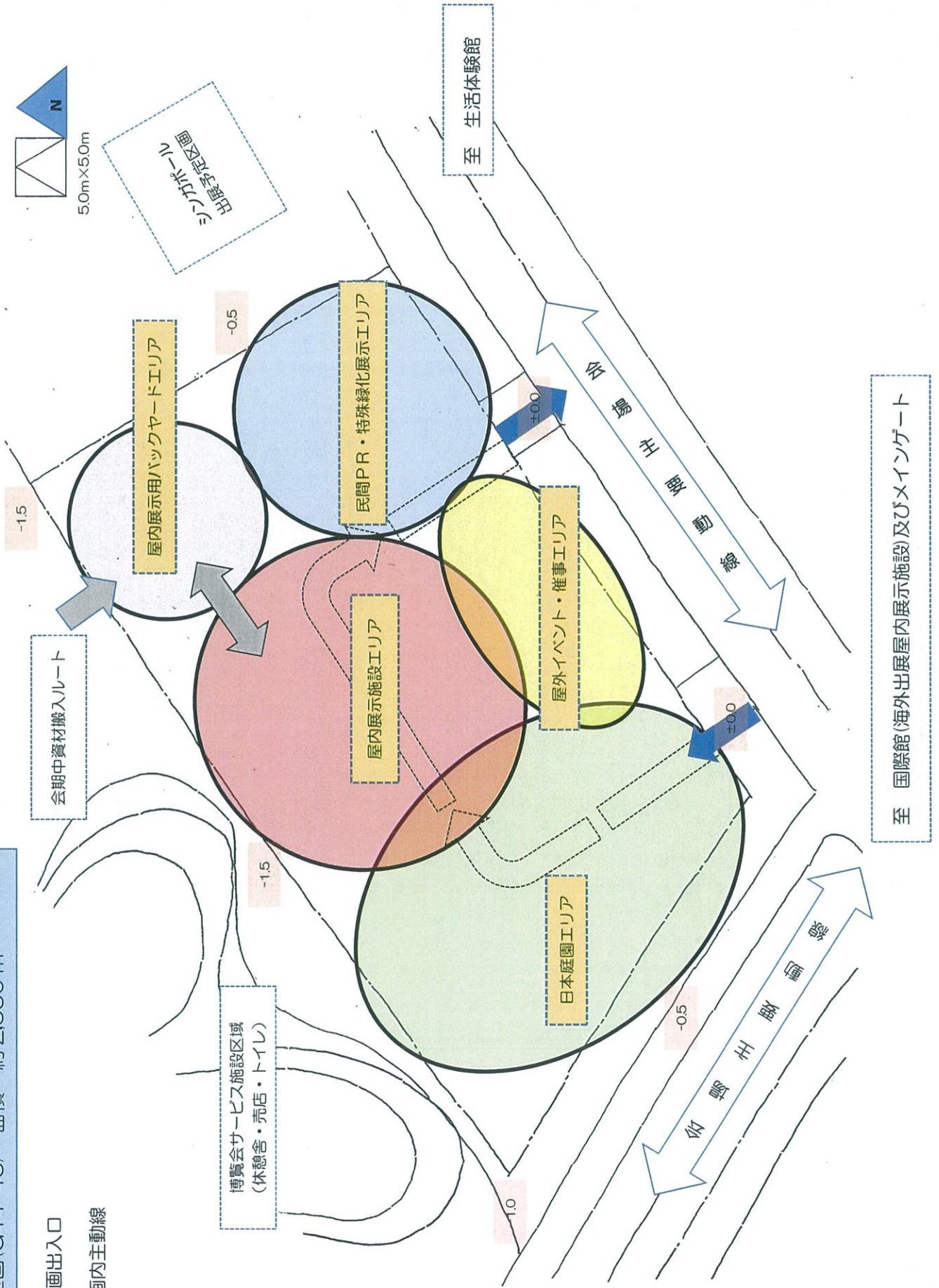
出展2区画(G44-45) 面積 約2,550㎡



出展区画出入口

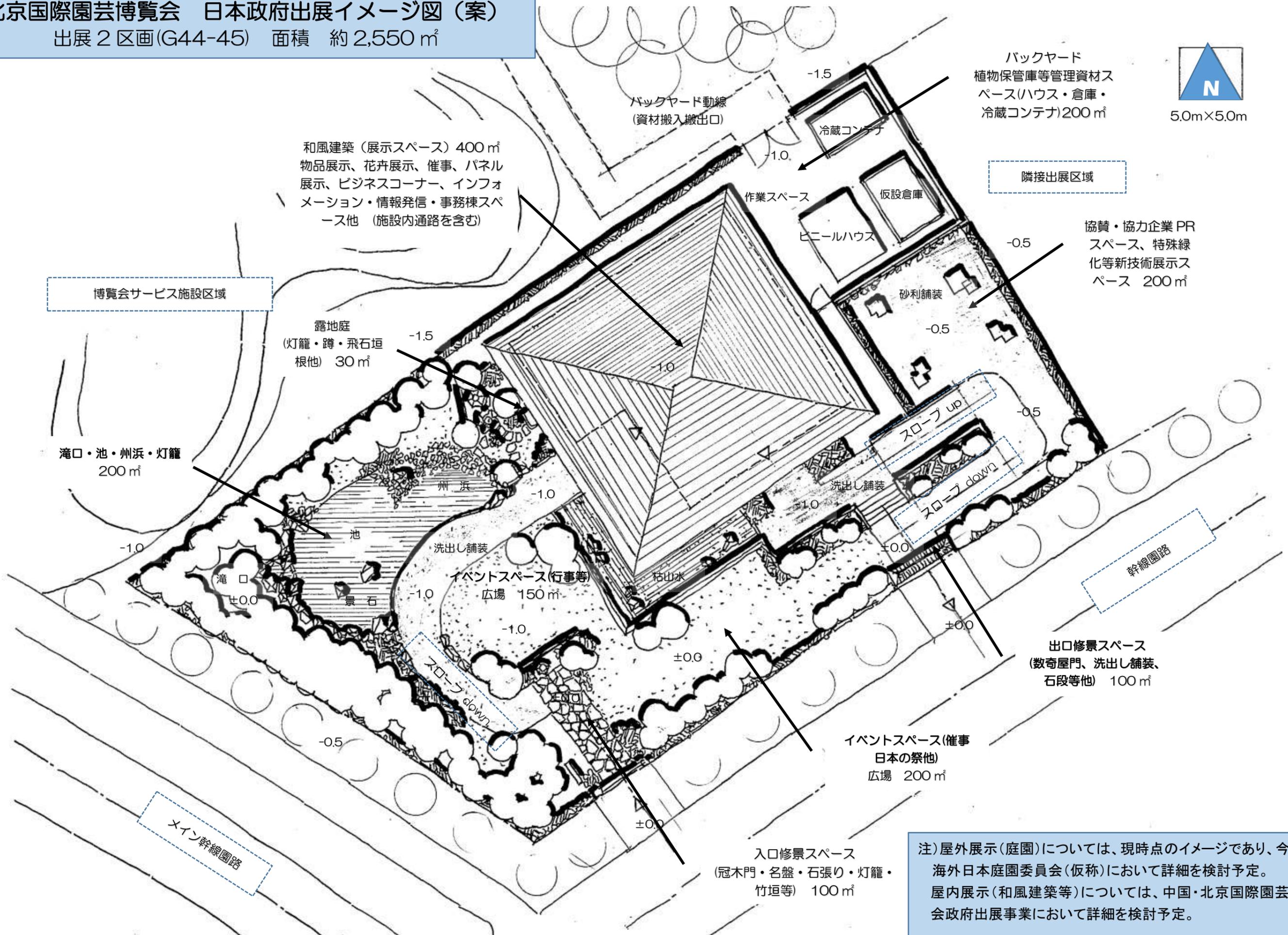


出展区画内主動線



北京国際園芸博覧会 日本政府出展イメージ図 (案)

出展2区画(G44-45) 面積 約2,550㎡



和風建築 (展示スペース) 400㎡
 物品展示、花卉展示、催事、パネル
 展示、ビジネスコーナー、インフォ
 メーション・情報発信・事務棟ス
 ース他 (施設内通路を含む)

バックヤード
 植物保管庫等管理資材ス
 ペース(ハウス・倉庫・
 冷蔵コンテナ) 200㎡

博覧会サービス施設区域

露地庭
 (灯笼・蹲・飛石垣
 根他) 30㎡

隣接出展区域

協賛・協力企業 PR
 スペース、特殊緑
 化等新技術展示ス
 ペース 200㎡

滝口・池・州浜・灯笼
 200㎡

イベントスペース(行事等)
 広場 150㎡

スロープ up
 スロープ down

出口修景スペース
 (数奇屋門、洗出し舗装、
 石段等) 100㎡

メイン幹線園路

イベントスペース(催事
 日本の祭他)
 広場 200㎡

入口修景スペース
 (冠木門・名盤・石張り・灯笼・
 竹垣等) 100㎡

注)屋外展示(庭園)については、現時点のイメージであり、今後の
 海外日本庭園委員会(仮称)において詳細を検討予定。
 屋内展示(和風建築等)については、中国・北京国際園芸博覧
 会政府出展事業において詳細を検討予定。